

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	放課後児童健全育成事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等	児童福祉法、平塚市放課後児童クラブ条例、平塚市放課後児童クラブに関する実施要綱		
対象・受益者	小学生及び保護者	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 放課後児童健全育成事業運営委員】		
	目的・目標		事業の概要
児童の健全育成が図られるとともに、仕事と子育ての両立が実現しています。		柔軟で効率的な事業展開を図るため、事業運営を放課後児童クラブへ委託するとともに、安心・安全な保育環境実現のため、民間借家の放課後児童クラブを小学校余裕教室等の公共施設への移設を進めます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	施設整備に係る協議回数			単位	回
	説明・算定式	公共施設管理者や既存利用団体との交渉などの回数、専用施設建設に係る交渉などの回数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	10	10	10	10	
	実績	10	10	10		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	施設整備件数			単位	件
	説明・算定式	既存公共施設への移設(分割を含む)や専用施設の建設などの整備件数の累計				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	17	18	19	20	
	実績	17	18	21		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
平成25年度は、勝原小学校及び中原小学校の一時余裕教室へ学童クラブを移転しました。また相模小学校区で運営を行っていた学童クラブへ新たに運営委託を行いました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	児童福祉法で市町村が実施に努めるべき事業と定めており、また最近では、女性の社会進出や児童が被害者になる犯罪の増加からニーズも高く、市が取り組む事業として高い必要性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	少子化が進行する中でも学童保育の利用者は増加しており、その充実が市民満足度を高めるうえで有効です。少子化対策や次世代の健全育成を図るためにも有効な事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	学童保育が公的サービスであることから、応能負担の原則により、世帯収入に応じた適切な利用料金を研究する必要があります。また、ニーズが拡大していることから、人員配置の充実も求められます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	学童保育の運営は、保護者会を始めとする各種団体への委託方式により行われていますが、保護者会運営は働く親にとって負担になっているので、社会福祉法人やNPO団体等の活用も検討する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 女性の社会進出等により学童保育のニーズが益々高まっている上、近年の地震等自然災害の発生や犯罪増加傾向等を反映し、学童保育の安心・安全が求められています。このため、学童保育の充実と、民間借家で運営されている学童保育についてはできるだけ速やかに公設建物へ移転を進めていく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施	児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施	児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施	児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	74,771	72,106	80,603	120,239
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	148,670	150,042	163,749	138,410
事業費 (A)		223,441	222,148	244,352	258,649
執行率 (%)		96.41	98.15	96.23	
内訳	職員 (人)	0.90	1.35	1.30	1.85
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		7,294	10,821	10,333	14,455
フルコスト (A+B)		230,735	232,969	254,685	273,104

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 学校の一時余裕教室等の既存公共施設の有効利用、公共施設が利用できない場合には専用施設を建設するという従来の方針に基づき、公設化を進めるとともに、大規模学童の分割や委託クラブの増設等を検討していきます。
課長コメント 女性の社会進出等により、放課後児童クラブに対する市民ニーズは高いものがあります。保育環境の改善を図るために、良好な施設の確保や指導員の確保・待遇等についての課題を一つずつ整理しながら事業をより充実させていきます。